

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12341				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	社会体育担当	担当者名	田中 剛				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 05	目 01	細目 020	細々目 04
政策	26	スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	40	スポーツ・レクリエーション活動の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) 年度)		法令根拠	「スポーツ基本法」「南ア市スポーツ推進委員条例・同規則」						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 スポーツに対し関心と理解を持ち職務に熱意等のある市民の中から、スポーツ推進委員を委嘱し、住民スポーツ振興のため、知識や技術の習得に努め、各種スポーツ活動を計画立案し実践する。現在の委員は58名(八田6、白根17、芦安2、若草11、楡形13、甲西9)で任期2年。平成23年の法改正により体育指導委員からスポーツ推進委員の名称に変わった。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
			非常勤公務員報酬	3,190	その他報償費	123				
			費用弁償	494	普通旅費	66				
			消耗品費	172	印刷製本費	667				
			会議研修等参加負担金	483	その他	634				
					計	5,829				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容	スポーツ推進委員計画による各種スポーツ教室や大会の開催、研修会への参加	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
	27年度活動予定	スポーツ推進委員計画による各種スポーツ教室や大会の開催、研修会への参加			ア	スポーツ推進委員延べ活動日数	日
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民やスポーツ推進委員		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	小学生以上の人口	人
					イ	スポーツ推進委員数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	教室や大会への参加により市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康管理を意識する。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	スポーツ推進委員が行う教室・大会の参加者数	人
					イ	スポーツ教室参加者数	人
					ウ	スポーツイベントへのスポーツ推進委員出席率	%
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生涯を通して、スポーツによる健康・体力づくりを実践する人が増える。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位	
					ア	週1回以上運動している人の割合	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	6,480	5,820	1,274	6,250	6,200	6,150		
		事業費計(A)	千円	6,480	5,820	1,274	6,250	6,200	6,150	0	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	3	4	4					
		延べ業務時間	時間	1,900	1,800	1,800	1,700	1,700			
		人件費計(B)	千円	8,647	8,192	8,192	7,737	7,737	0	0	
		(A)+(B)	千円	15,127	14,012	9,466	13,987	13,937	6,150	0	
活動指標	ア	日		90.0	90.0	80.0	70.0	70.0			
	イ										
	ウ										
対象指標	ア	人		67,000.0	67,000.0	67,000.0	67,000.0	67,000.0			
	イ	人		58.0	56.0	58.0	58.0	58.0			
	ウ										
成果指標	ア	人		1,900.0	1,900.0	1,900.0	1,900.0	1,900.0			
	イ	人									
	ウ	%									
上位成果指標	ア	%		35.0	35.0	38.0	38.0	38.0			
	イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	スポーツ基本法(旧スポーツ振興法)に基づき、旧町村時代から体育指導委員を委嘱し行政と一体となって住民のスポーツ振興に取り組んでいる。合併前は90人程度いた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	スポーツによる住民の健康増進や市民スポーツの活性化を図っていくことの重要性は変わっていないが、スポーツ基本法の制定に伴い新たに「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整」と言う文言が追加された。合併の経緯から、現在の委員定数は58人と減ってきているが、人口規模が同程度の他県の類似団体と比較しても倍近い数となっている。また、各地域におけるスポーツ事業への関わりが希薄という意見や活動量も多く「忙しい」
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	ウォークラリー大会では健康増進課の食スポと共同開催を行い事業の負担を分散させたりしながら、規模に見合った実施事業の見直しを行った。今後も事業面や経費面等、全体の活動の中で必要なものかどうかの検討を行っていく。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	昨年度は共催等で事業の見直しを行ったが、今年度については諸事情により単独開催となってしまった。来年度に向けての事業共催等の見直しを行うため、現在、ボランティアや共催団体等の募集方法を検討している。

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 施策にも生涯学習の振興にも結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 教育委員会は、スポーツ基本法でスポーツ推進委員を委嘱するものとされている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 対象意図ともに妥当。法令にあるとおり。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在の事業をもっと広域的に行う必要があるが、そのためには推進委員の負担が増大するため、今後は推進委員による人材の育成にも重点を置きながら事業を推し進めていく必要がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 健康づくり教室等と連携が可能か。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 住民スポーツの推進や意識の向上に影響がある <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 スポーツ基本法に基づき設置し活動している。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 共催で事業を行ったりすることでそれぞれの事業に係る予算を削減できる。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業を共催したりボランティアを活用するなどして、お互いに補うことで削減できる。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広く市民を対象として活動している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	スポーツ推進員は子どもからお年寄りまで多くの市民に向け、健康の維持増進のために気軽に参加できる市民スポーツ教室を実施している。特にお年寄りを対象とした健康スポーツ教室は年間を通して開催され、高齢者でも気軽に参加できることもあってたいへん好評である。高齢者が心身とも健康であることにより、医療費などの削減につながるかと考えている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①スポーツ推進委員の事業展開の見直し ②スポーツ推進委員事務の自主的活動実施																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
①意識改革	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					